高校阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区
阪南町中一丁目
大阪府立阿倍野高等学校
新聞部
発行兼編集者
堀　賢　哉

食堂問題解消
新食堂八月に完成

最近最も多くの利用者を得ながら不設備、それからくる不衛正等を強く利用者が指摘不満、非難の声が高まり、食堂の改善、経営の合理化を要望していた食堂問題も新食堂建築によつて解消されることになつた。新食堂は総工費百万円、総建坪三二坪、八月中旬には完成され二学期から使用される。

現在使用されている食堂は以前、家庭科教室であつた関係上、諸設備に不備の点が多く、そこからくる不衛生の問題、食堂が独占経営のためサービスの不行き届き等に対する利用者の改善を要望する声が高まつていた。また家庭科から家庭科教室の不足から返還を要望されたので、体育館建設、新運動場の整備等によつて忘れられていた食堂新築計画がP・T・Aの援助を得てここに実施され食堂問題も一応解消されるはこびとなつた。それによると新食堂は総建坪三〇坪（調理室五坪、食堂二七坪）収容人員は七〇名。現在工事も半ば完成しており、八月中旬には現食堂の横に総工費百万円をもつた新食堂が完成され九月から使用される見込み。

林教頭談　これからは外食をやめ絶対学校の食堂を利用してほしい。また利用時間は昼食時と放課後のみ利用して風紀を乱さないように希望する。

食堂談　食堂新築を機に経営面も他校を参考にしてできるだけ合理的にしたい。

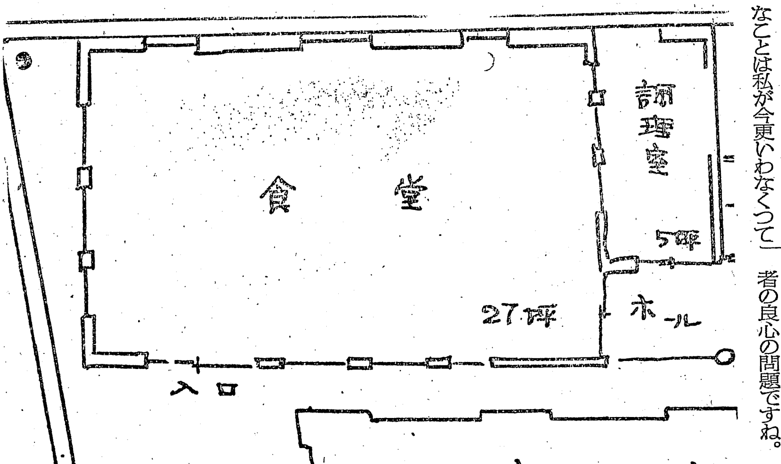
ここで食堂新築を機に二、三の生徒の要望をひろつてみよう。

三年S君　何しろいままでの食堂はひどかつた二時限終了後 に はもう食堂に走つている人がいるのだから風紀が乱れるのも無理はないと思う。先ず営業時間を統一してほしい。

二年K君　第一に高いですよ。第二にまずいときています。今宮等はもつと安いのだからここでも安くできるのではないか。

一年Hさん　汚いわね。男子の多くの人は案外気にかけておられず食欲がさかんのようですけれど私などはとてもだめ。先ず衛生的ということをお願いします

二年Fさん　食堂新築されるづて本当？素的ですね。これを機になにもかも改善して欲しいですね。先ず第一に……第二……と色々あげたいんですがこのようなことは私が今更いわなくても食堂の人は当然わかつておられるでしようから、あとは経営者の良心の問題ですね。



文房具全般
山本清文堂
体育館西側

29年度クラブ予算決定
最高は野球部の十二万圓

昭和二十九年度の自治会クラブ予算は、五月中旬から準備が進められ途中修学旅行などで中断したが、六月下旬確定した。総額一〇〇万円余。本部費二六万、文化部二六万、運動部五〇万でそれぞれ支払が開始されている。運動部の最高は野球部の十二万六千五百円、次いでソフトボール部の七万七千円などがつづいている。文化部では例年通り演劇部が最高四万二千七百円、生物部、ハーモニカ部の一万六千七百円がこれに次いでいる。本部費では、卒業記念品料が四万五千円を占め、自治会文化雑誌"聖火"が七万八千円自治のしおり（一年に一度発行）集会費が二万五千円を示しているなお特別グラブ、新聞部、図書部は学校予算が出るため自治会予算からはそれぞれ五千円、放送部は一万二千五百円である。予算配分の苦心について酒井会計は次のように語つた。

総額が昨年の六十五万円より四十万円ばかり増加したので比較的やり易かつたが、どのクラブも少しでも多く欲しいのは当然なのでなかなか全てが満足するようにはいかなかつた。支払いも始めているからこの夏休みを迎えてクラブ活動も大いに活発になるだろう。

自治会予算

文化部

文芸部	9,500
歴研部	14,000
社研部	6,000
生物部	16,700
E　S　S	9,500
写真部	14,380
ハーモニカ	16,700
音楽部	11,900
絵画部	14,600
書道部	7,700
茶道部	15,000
華道部	10,600
能楽部	3,440
演劇部	42,700
洋舞部	15,000
映研部	9,780
小　計	260,000

運動部

陸上部	27,750
水泳部	16,000
体操部	14,600
軟庭部	20,000
硬庭部	21,600
卓球部	16,300
籠球部	36,640
排球部（男）	34,900
排球部（女）	22,320
ソフト部	77,050
野球部	126,500
蹴球部	13,340
山岳部	22,890
柔道部	9,300
予備費	27,699
小　計	486,889

特別部

図書部	5,000
新聞部	5,000
放送部	12,500
予備費	20,000
小　計	260,000

本部費

記念品代	45,000
「聖火」代	7,800
自治のしおり	25,000
体連合費	17,000
集会費	25,000
予備費	22,000
その他	141,800
小　計	270,000

論説
校名と伝統

本校の校名は大正十一年、大阪府立第十一高等女学校と称して府立泉尾高女内に併置されていたものが、同十二年、大阪府立阿部野高等女学校と改称され、その後昭和二十三年、新学制とともに阿部野高等学校と改め、ここ三十年有余親しまれて来た阿部野の部がこのたび倍と変更され、本校の名称から姿を消すことになつた。

一字であるが校名変更については職員間、及び同窓生、生徒、学校関係者の間で相当大きな反響を呼んでいる。ほんの一字の、それも部が倍になるというだけのことであるが長い間この字に親しんで来たわれわれにとつていま、校名から消え去つていくのには一抹の淋しさを感じる。

われわれの校名に対する愛着は想像以上のものがある。単に三十年間の伝統の上に立つているということだけではなく、母校の名称として見捨てることのできない愛着は隠せない。個人個人によりその多少の差こそあれ、一応本校に学んだ者なら、誰しも感じる感情であろう。その校名を単に便利がよいから、誤り易いからという理由で突然変更するよう通達があつたのは、これが生徒の中から盛り上つて来た声でないだけに、また突然であつただけに何か割り切れない気持を跡に残すのは残念でならない。

最近伝統云々がよくいわれるようになつた。校名変更反対の一つの大きな理由として伝統をとりあげていたが、伝統とは何か。

伝統は、はつきりした形の上に現われるものではない。もつと精神的な目に見えないもので、いままで多くの先輩たちの努力の上に築かれた礎石とみることができよう。スポーツでも伝統は大きく物をいう。以前から野球の強いところはいまでも強いとある程度までいえる。あの学校は伝統があるからという。しかし伝統とても形にあるものでない以上、それを受け継ぐべき優秀な人物がいなければ、自然と消えて行く。これは人類の文化についてもいえることで、前の時代に如何にすぐれた文化を作ろうとも次の世代の後継者がそれを受け取り伸ばす力がなければ、その文化は滅びることになろう。だからあの学校には伝統があるから、といえるのはそれを受け継ぐすぐれた人が今もいるということになる。

そして伝統は古いものとして決して黙殺できない。伝統とはいたずらに古さにこだわることでないということもまた必要である。古い歴史を経ない新らしい歴史はないと同様、われわれはいつも、古い伝統の上に立つた。新らしい歴史のなかを歩いている。

人はいつも古いものの世界にいるわけでなく常に新らしいものを、新らしいものを求めつづけているが、その反面、古いものに対するノスタルジアをもつている。

しかしこの校名の場合、すぐに"倍"が新らしいものであり"部"が古いものであるといい切れない。なるほど歴史的には部が正しくとも、本校は阿倍野区であり、附近の公共の建造物は殆んど地名をとつた阿倍野を使用している。この場合は問題は起らない。しかし本校の場合は、三十年間、部を使つており、そう不便に感じることはなかつた。否むしろ歴史的な事実から見て誇りさえ感じて来た。それを今後、表面的には誤り易いからとの理由で変更されるのは何かしつくりとしないものを感じる。

しかし変更に決定した以上、今後しばらくの間、相当の混乱が予想されるが、一日も早くこの混乱を脱却、これを滲透、統一するよう努力しなければならない。

☆……

☆……

"部"から"倍"へ
校名変更さる

本校の前身「府立阿部野高等女学校」の創立以来三十年というもの本校生に親しまれたアベノの"部"がこのほど突然"倍"に変更され、すでに全校生に発表された。すなわち、本校の名称は昭和二十三年の大阪府条令によれば"阿倍野"となつている。なぜ"倍"になつたのかは判然としないが、学校側も"倍"となつていることを確認しておらず、これまで"部"が用いられていたものである。歴史的にいえば"部"が正しいわけであるが、この際、学校当局は混乱をさけるためにも一般に用いられている"倍"の方に変更することを決定、過日全生徒に通知された。これについては賛否両論もあることだが、一応の決定を見た以上"倍"が今後用いられることになる。

山上先生談＝歴史的に云つて"部"が正しいが、町名、警察、郵便局、小学校、保健所などが"倍"になつている以上、本校のみが"部"を使用することはいろいろ誤りを起すもとになる。「府条令」にも"倍"となつており、この際便利な"阿倍野"に思い切つて"倍"統一することにした。歴史と伝統を誇るこの文字に無限の愛着を感ずる人もあると思うが、この際、喜んでこの変更に賛成していただきたいと思う。

〔解説〕
アベノの"部"について

アベノの"部"のそもそものおこりは「太平記」にある"阿部野ケ原"の戦い（延元元年）における北畠顕家の古戦場にその端を発する。そしてこのあたりの地名（いわゆる"阿部野ケ原"）には"部"が用いられてきた。また明治初年創設された別格官幣社期阿部野神社"には"部"が用いられている。（近鉄アベノ駅も"部"である）

これらの史実により、大正十一年本校の前身の「大阪府立阿部野高等女学校」の名も同様"部"とされている。

その後のの市域拡張でアベノ一帯を"阿倍野区"とし、それ以来"倍"が官公庁その他に用いられてはいるが、史実からいえば、地名のアベノの"べ"は"部"と書くことが正しいことになる（山上）

議會記者席

予算よくやった執行部
今期最後の議会開く

◇……まず自治会二十九年度前期の足跡を探ぐつてみよう。

第一に大きいのは予算の決定。"昨年度より約四十万円増加したため、少しは楽になつたが、それでも予算決定は例年前期執行委の頭痛のタネ。とかく誰でも一銭でも多く欲しい予算を、酒井会計大藤議員のベテランよく会長を助け、なんとかうまくまとめあげたのはほめられていい。

◇……二番目にクラス・マッツチ一部の二年生はプログラムにに、審判によく活躍していたが、、その他はオール・サボ。各クラスの運動委員は全く無能。まとめ得なかつた運動委員長もさるることながら、運動委員はもつと親切気を出して助けてやること。少人数では無理が重なる。

◇……第二回生徒集会―鳥海氏の講演。題名はこちらでつけただけあつて ピンボケ。第一「青年を語る」というのに無理があつたのかも知れぬ。でも身近かな映画の話で相当ウケタ様子。まず成功の部類と申せましよう。

◇……さて七月六日、緊急議会昼食時にいきなり招集、定足数にこぎつけるまで例によつて例のごとく、議員の神妙な顔も、ネムそうな顔も十年一日。議題は「全日本体育大会、国民体育大会選手派遣援助資金カンパの件」議長と山上先生としやべつている間、おとなしく聞いている。どうやらこの発言の少ないのは執行部の責任、ひいては全議員の責任である。

◇……何かちよつと冷たい雰囲気が案外影響しているのかも知れない。何しろ発言のたびにジロジロツと見られたんじや上りかけた手もすくんでしまう。要一考。

◇……一、二年の諸君、もつと元気よくやりなさい。少々"でしやばり"と思われたつて心配することはない。どうせみんなの議会なんだから。

◇……脱線禁ず。費用金額二十万円のうち三万円をどうにかして一般徒生からひねり出そうというわけ。その方法として、三十円只で集めるか、五十円集め映画を見せようか。とサービス精神？を見せたが結局、紳士は安い方がお好きという訳で三十円に決定。山上先生ここでニヤリ。すかさず小野議員「強制なりや」と追いかける。「強制はしないが道義心に訴える」とこんところ甚だデリケートである。

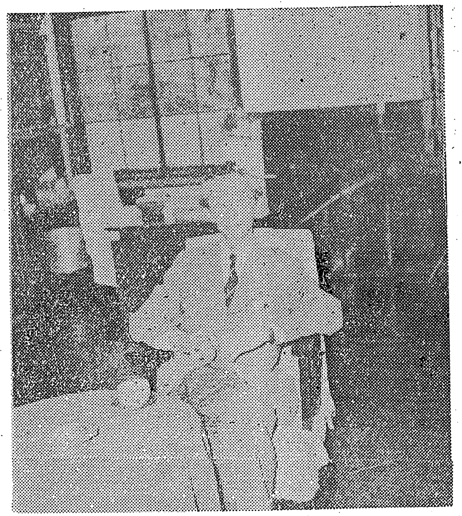
◇……執行委、素速く後期選挙管理委員会を結成、うまく逃げ切つて、前期も無事終了した。【T】

×　×　×

各文化クラブの
夏期活動

各文化クラブ及び家庭クラブではこの夏、それぞれ夏期活動を計画見学、旅行などを行い運動クラブの合宿と共に夏期クラブ活動をいろどることになつた。主なクラブの行事予定次の通り。

○家庭クラブ　七月三十日
修徳学院見学
○生物部　七月三十一日から
八月四日
由良方面へ採集旅行
○写真部｛八月一日から
　絵画部｛八月四日
尾道へ撮影、写生旅行
○茶道部　八月一日　京都
竜安寺で夏期茶会
八月五日から十日　夏期茶道
講習
○歴研部　八月二日
実地踏査
○図書部　八月四日
六甲ハイキング



鳥海氏を招いて
第二回生徒集會開く

去る六月卅日、前期自治会初の生徒集会が行われた。当日は朝日新聞社の学芸欄を担当され、主に映画、音楽、舞踊などの批評を書かれている鳥海一郎氏を講師に招き"青年について"の論題の下に現代の芸術と青年などについて語られた。講演終了後、自治会執行委員などをまじえて同氏と一問一答を交わした。

……映画、音楽などの批評をされるわけですが、どの部門が最も難いですか？

映画ですね。いろいろの方面からいつて一番難しいでしよう

……A級とかB級とかいうのはどのように決定されるのですか？

まず映画企業として成功したと思われるものがB級、それに一段と芸術性が加われば準A級、A級となるわけです。

……どのような所で見られるのですか

せまい試写室の中で小さなスクリーンにうつるのを多い日で一日に六本、少くとも二、三本は見なければなりませんので辛いですね。おまけに見る人間が五、六人、少い時は私一人だけで、つまらないといつても居眠りをするわけにもゆきませんのでね。その点、音楽などは一般席で見ることができるせいかやりよいです。

……現在高校生を主題にした映画が二、三あるようですが。

これらは興行的に成功させなければならないので実際にはありもしない恋愛などをおり込んでいます。そういう点からもあまりよいものではありません。

……音楽映画では？

「マタイ受難曲」などがありますが、あれは画面が音楽の伴奏のような形になつてしまい、映画としては下手ですね。さつきもいつたような点からB級でしようか。その点「ホフマン物語」などはA級に値します。

……最後に本校の生徒の印象について。

月に三一六回はこのような会に招かれますが比較的いいですね"水準以上"ですよ。（笑）

クラスマッチ終る
活躍した二年生

恒例の本校クラスマッチは去る六月九日から十八日まで十日間、新装なつた体育館、運動場などでくりひろげられた。雨にたたられたりして順調にはすすまなかつたが各所に熱のこもつた試合を生開、結局、次の各クラスが優勝の栄冠をかちえ、自治会から賞状が贈られた。

男子バスケット	二年四組
女子バスケット	二年七組
男子バレー	三年一組
女子バレー	二年七組
男子ソフト	三年二組
女子ソフト	二年七組
柔道（一年）	一年三組
柔道（二、三年）	三年三組

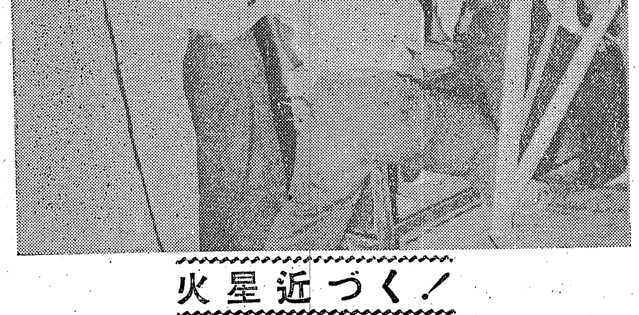
【写真説明】
優勝クラスマッチ・バレーの部で表彰を受ける3年1組片本主将

校内誌評
見える努力の跡
一号毎に前進

笹龍膽（ささりんどう）
第七号　歴研部発行

前号にくらべ表紙に二色刷りなどして工夫の跡が見えるが、何か泥くさい感じをまぬがれない。唯一の発表機関である以上、やはり"読んでもらうこと"が大切。内容も地味なものであるが「中世武士の主君に対する服従性と独立性」はなかなか読みごたえがあるし、「田辺近辺寺院神社について」は努力がうかがわれ、興味深く読ませる。あまり遠くに大きな題材を求めるよりも最初はこのような身近かなものに研究の対象を求めているのは好感がもてる。「笹龍膽」独特の持味というようなものがほしい。印刷も一部非常に美しい所もあるが全体としてみると不統一さが目立つ。無理かもしれないが、なるべく統一した方がいい。新旧仮名づかいが無茶苦茶なページもあり、あて字も見える。この方面にも気を配つてほしい。

でも確かに一号毎によくなつている。今後の成長が楽しみだ。（K）



火星近づく！

去る七月一日、三日の両日、火星接近の機会をとらえ、火星観測が二、三年の有志によつて行われた。最もよい機会である七月二日は不幸にも雨にたたられ、観測を断念、七月三日、十センチの望遠鏡を用いて徹夜の観測を行つた。メンバーは旧科学部員その他約十名、双眼鏡、自作の望遠鏡などを動員、十数枚のスケツチをものにした。（写真は観測風景）

クラスマッチ反省会行う

去る一日放課後、会議室に山上自治会顧問、体育科弥園先生をはじめ、今度のクラスマッチに関係した自治会、運動部の人たちが集り、約二時間にわたり、クラスマッチに関していろいろなごやかに語りあつた。来年度からは見学者のために当日は柔道場を広い体育館に移してほしい。来年は時期をもう少し早くしてはどうか。技術的にはまずくても、できるだけ全員参加するようにする。など有益な意見が出、五時頃終つた。

きょう図書館報発行

かねてから本校図書部では、同部の内容、活動状態を一般によく認識してもらうため、館報の発行を計画していたが、このほどでき上り、きよう発行された。タブロイド半截八ページ。

ESSで交換会

ESSでは去る六月より、住吉高校、帝塚山学院高校部と、一年生を主体として交流している。ESSでは、会話力の養成、また英語会にならせるため、また、相互の親善をはかるため、今後もつづけてゆきたいと語つている。なお、これまで本校で三回開かれ、成功をおさめている。

針穴

▼ヤレヤレやつと夏休み。一ケ月あまり試験ともグッドバイ。まあ机にばかりしがみついていないでたまには海や山の空気に解れること▼一日中参考書とにらめつこしていて五、六頁しか進まず、あとは山や海のことを考えていたというのでは能率があがらない。もつともサボルことを励める訳ではないですがね▼阿部野の"部"があつさり"倍"に変わつちやつた。理由は誤りやすいから▼よそごとながら、ついでに自衛隊もあつさり"軍隊"にしてしまつたら如何？理由は「誤りやすいから」外国の新聞ではジャパニーズ・ミリタリーで通つているとか▼ところで生徒集会の鳥海さんの講演の御感想は？でも前田自治会長の原稿を前へ置いてのトウトウたる紹介演説、あの最大限の賛辞には聞いている方が冷汗。丸いものも四角になつてしまう。▼ついでに一年生へ忠言。一学期たてば高校の雰囲気もわかつたはず。今年の一年生は言遣いが悪いともつぱらのうわさ。先生も上級生も対等の言葉で話している。名前を呼び捨てにするのもザラ。馬鹿丁寧にやれとはいわないが礼儀は礼儀として一線を引くこと▼去る二日、火星地球に大接近旧科学部員、俄然色めき屋上にテントを張つて観測のマネごとをやつたのはよかつたが、肝腎の火星はどれやらわからず、天体図と首つぴき▼結局遠い天国より手近かな下界をと、もつぱら地上観測と開け放された家の中を望遠鏡でのぞき込んだとは罪な話▼さて待望の夏休みを迎えて発足後一年の街頭補導班も目を光らせている。今年は予算を組んでバスを新調"神出鬼没"鞍馬天狗そこのけの活躍をせんものと張り切つている。まあこんなのにはあまりお世話にならない方がいいでしよう▼三年生へ、一先輩より模擬試験で自分のペースを乱すな、目指すは入試なりとのお言伝て。先輩連の尊い犠牲の上に築かれた経験談によるとやはり夏休みで合否が決定するとか。しかしあまり無理な計画で計画倒れにならぬよう、老婆心ながら。▼最後に穴子の暑中御見舞と致します。

中塚放送部長辞意撤回

かねてから辞意を表明していた放送部長中塚雅之君（三年）は部員の希望もあり、辞意を撤回、新たに放送部長として同クラブの運営に当ることになつた。

中塚君談……私のことでいろいろの方面への方々に御迷惑をおかけしたことをすまなく思つています今後は前にもまして放送部をよくするために働くつもりです。

矢田、武内両選手
全国大会へ

去る六月二十日午時九時から六時半まで府立北野高校体育館において全日本高校体操大会予選並びに国体大阪予選が行われ、本校より出場した矢田節彦選手が跳箱第六位、武市光代選手が総合第六位を獲得、来る七月二十九、三十日大阪府立体育館にて行われる、全国体操選手権大会に出場する。

木村選手熊本へ

本校陸上競技部のホープ木村裕宣選手（3／2）は今月末熊本市にて、行われる全国高等学校陸上選手権大会に出場する。
（写真は力走する木村選手＝於中モズ）

大阪府公認　夕陽丘予備校

夏期講習會

◇綜合科（一月間）
英語・数学・國語・社会・理科
七月廿三日－八月廿一日

◇専科（二週間）
英語　八月二日－七日
解Ⅰ　八月九日－十四日
國語　八月十六日－廿一日
解Ⅱ　八月廿三日－廿八日

教授の精鋭なること　大阪随一
合格率九四％を誇る
環境の閑静なること　大阪随一

大阪市天王寺区夕陽丘町八
市電椎寺町下車スグ
電話天王寺⑺四八〇三

夏期講習(7月20日開講)と綜合模擬試験のお知らせ

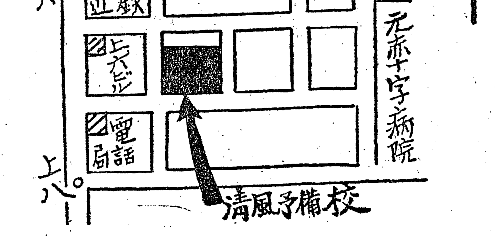
従来，官公立大学入学のみを目指して親身も及ばぬ指導を続けて来た本校では，平岡校長を始め全講師の積年の念願がかなつて近く全国で最も充実した夏期講習を行うことになりました。本校の誇る綜合模擬試験は，大阪，京都，福井……など各地の高校，予備校と提携して，同一問題をテストし，常に一つの学校の成績だけでなく，全国的な実力水準を明らかにし，以て来るべき日に万全の備えをもうとするものです。受験生諸君の熱烈な支持を期待して止みません。

榮冠への道ここにあり

9月3日開講　入学隨時
（詳細は照会を乞う）

大阪市天王寺区石ケ辻町117　市電上六下車
天王寺電話局北側東入　電話⑺8363・3505

清風予備校



青少年補導センター　一年のあゆみ
大阪府立梅田児童相談所

戦後、特に最近の青少年の犯罪に手を焼いた大阪府教育委員会では昨年六月北区の梅田児童相談所内に、〝大阪府青少年補導センター〟を設置、警察官六名、児童福祉司二名、府下各高校生活指導関係教員二名より街頭補導班を結成、南北の盛り場、繁華街を中心にいわゆる問題青少年たちの善導に甚力してきた。本年六月で発足以来満一カ年を迎えたわけだが、これから全ての学生が解放される夏休みになるが当然これとともに青少年の犯罪も増加するものと見られているが、補導センターではどのような対策をねつているだろうか。また一年間の活動はどうであろうか。

補導一年間に千五百件

着々あがるその成果

善導をモットーに　行き過ぎはみられぬ　多い定期券の不正使用

話題の補導センターは北区芝田町府立梅田児童相談所内に、大阪府青導少補年センターとして昨年六月設置以来、各方面で着々と成果をあげているもので、主任の小倉栄蔵氏を中心に警察官六名、児童福祉司二名が専門にこれにあたりその他府下各高校生活指導科教官が二名づつ輪番制になつており、これらの人々から、数班を編成、南北盛り場、北は曽根崎、大阪駅附近を中心に、南は心斎橋、戎橋阿倍野附近に主力を注ぎ、家出の少年少女、悪の一歩手前の少年たちを、兄となり、父となつてあくまでも〝善導〟をモツトーに指導を行つて来た。頭初、昔の教護連盟の復活ではないかと極度におそれる向きもあつたが、その後一年間経過したが〝行き過ぎ〟の声は殆んど聞かれず、至極地味な活動ではあるが、順調に進んでおりこの一年に約一、五〇〇件の指導を行つており、一カ月約九〇件というところ。一番多いのは不正乗車、その中でも定期の不正使用、改ざんが大多数を占め、特に定期の改ざんについては専門家でも発見し難いようなものが見受けられる。それにつづいてキセル乗り、ある区間の定期と回数券を使用し真中の運賃を支払わない。このため大阪の各国、私鉄では莫大な損害をうけているといわれる。不正乗者一〇万人のうちその六割まで学生が占める。

そのほか怠学生など朝早くから盛り場を徘徊て、通る女学生と待ち合わせ、二組づつ別れてどこかへ行くという。とがめられると、きようは学校の文化祭で休みだとか、創立記念日、試験休みだなどと一人前の云い訳けはするが、これらの学生は服装で殆んど想像がつき。調べると大低、質札をもつている。これらは大部分、腕時計オーバー、洋服などを入れるのであるが、自分の物がなくなると家の品物を持ち出し、遂には他人のものまでも手につける。最近の例では半年間に四四回質屋に通つた学生がいる。

これらの問題青少年の出るのは殆んど中流家庭以上であり、下層階級というのは非常にまれで厳格すぎる家庭と、放任しすぎる家庭の両極端にある。

男女の不純交際はこれから増々ふえて行く傾向にあるようだが、青春のはけ口をスポーツなどの自己趣味方面に求めればいいものをカストリ雑誌、エロ雑誌、映画等の影響を非常に多く受け、ギャング映画を見てその帰り、自動車強盗を思い立つたという典型的な例もあり。何事にも感化されやすい少年の頃が考えられる。

いずれも、一番大切な子供の時に受けた大きな戦争の影響が尾を引き、性格が不安定となり自制心、克己心が失われたことも大きな原因の一つとなつている。

補導はあくまでも〝善導〟を立てまえとしており、特別な場合の他は学校への連絡を出来だけ少なくし、本人の精神的な問題も考慮し暖かく導びこうと努力しているようだ。不良化の原因がその家庭にあるような場合、あくまで善導をする立場から、まずその原因からなおす意味で家庭調整にまで乗り出し、根本的にその原因をとり払うよう苦心をはらつている。

補導後、更生、非常に真面目に学校へ行き出した例も多く、その功績もやつと一般から認められ始めている。最近もかつて補導された少年たちが、補導センターへやつて来て、職員を交えて楽しく語り合い、中には勤務している会社で表彰までされたという少年もあり、暗いなかにも明るい話題を投げている。この機会をとらえて、小倉補導センター主任と一問一答を試みた。

専用バスで機動力も

—夏休みに特に計画されていることは？

別にこれといつて特にないが、バスを新調したので大いに有効に使いたいと思つている。

—主としてどのように？

盛り場へ乗りつけたり。急を要する仕事など、それに遠距離のところでの補導に機動性をもたせる。このバスがとまつているだけで犯罪が少なくなれば成功といえます。勿論行動半径も大きくなる

—その他には？

夜間の補導—毎年この時季にはやつている—。これを十時から十一時までやりたい。

—夏に特に多いのは？

やはり性犯罪、それからいわゆる不純交際が多い。

—交際について、

公に認められたものならいいですね。両親が知らないようなのは困る。夜の外出などは両親が認めていても望ましくない。

—補導の方法について

まず住所氏名を聞く程度のもの、それから家庭、学校へ連絡する場合、こみ入つた事情のある時はセンターへ連れて来て、打ちとけた話合いをします。とにかく、あくまで青少年と〝話合う〟が第一です。

—明るい話題は？

退学生の転校の時、保証人になつてやつたことがありますがその中で、非常に素晴らしい成績で卒業したものなどやはりうれしいですね。

—最後に高校生に何か？

とかくあまり早く大人になるなということですね。いつまでも純真さを失わないで。大人には、いつだつてなれるのですからね。

（カットは学生で埋まる東京某ダンスホール。警視庁提供）

來年度大学受験者のための心得がき

つづき

山上徳信

進学について気付いたことをまとめて記して見ると。

①志望を確立しておくこと

「大学」の名にあこがれ、所謂大学という名のつく学校なれば、どこでもよいというような考えは絶対にいけない。自分の将来の職業は何か。どんな学科を大学で修めようとするかを定、何大学にはどんな学部があるか。受験の様子はどうかと先輩に聞くなり、雑誌で調べるなりして、自分の学力・境遇・学資のことと考え合せて、適当な学校を自分で選択しておかねばならない。自分で目的を定めた上は、如何なる困難に出会つてもその素志を貫徹するという鉄の意志をもつてもらいたいものだ。本年三月の例でも本校の卒業生で二年或は三年浪人をしても京大や阪大に立派に入学した人もあるのだから、しつかりした意志さえもつて、組織立つて勉強をすれば、普通の能力をもつている人なら、どんな大学でも合格できるものと信ずる。しかしそれだけの長い間、一切の楽しみを拋つて「絶えざる努力」を傾倒出来るか否かの意志の問題だ。

世間には百人に二人か三人の真に恵まれた天分豊かな人間がいるものだ。その外の一般のものはそうたいした差はないものだ。ただ努力奮闘の程度にちがいがあるばかり。自分の才の乏しいことのかこつのをやめて一生懸命勉強してみるがよい。必らず成功はその手に収められる。

②国立・公立大学か、

国立・公立大学か、私立大学かの問題は一概にはいえないことであるが、最近は学資の点、就職の点などから国立公立に受験者が殺到しているが、それは止むを得ないことであろう。例えば受験料をみても国立は四百円であるが、私立は三千円も要するといつた具合で入学納付金も三万円、五万円と要する学校が多いとのこと。卒業後は、慶応・早稲田・関学などは別としても、一般に国立公立よりは軽視され勝ちである。ことなどから自然と私立を忌避しているものと思われる。——しかし私立であつてもその大校の校風を教慕している人、学資の心配のない人などの条件の満足する方はどんどん進学されてよいと思う。

③なるべく近くの大学に

昔は「遊校」とか「笈を負つて帝都の地に学ぶ」などといつて、自分の住み慣れた土地から外の地でいろいろなことを見聞するの余得をたたえられたものであるが、現在は経済的にいつて他郷で勉学するということは余程の余裕のある庭でないと困難である。

官費の保安大学に入るとか、全寮制の商船大学に入るとか、或は他地方にない芸術大学に入る場合、または会社の寮が近くに在るとかのためならば東京その地の地方に行くのもよいが、大抵の大学は近畿の地に在ることだし、どんな学部でも開講されているから、関西の地で学ばれることが望ましい。例えば東京などに遊学すれば下宿料や生活費の高いことはいうまでもないが、帰省の交通費だつて仲々馬鹿にならない。また東京にある相当な一流大学に入れる実力があるならば、関西の有名大学に必らず入れる筈である。東京の大学入試は関西よりも一段と水準が高いことは、本年迄の進適の成積を見ても明らかなことだ。

なお本稿前半の記事は文部省春山大学課長の放送講話によることが多い。

（筆者は本校教諭）

一年担任の家庭訪問

尊敬するのは頼山陽

二組担任　松隈邦夫先生

近鉄若江岩田駅から十五分、松隈先生のお宅は、広々とした水田に面している。午後七時、帰宅されたばかりの先生にお話を伺つた。「話が合わんで面食らうかもしれんが」と前置きされ、淡々と話される先生との一問一答……

—日課は？

別に世間一般の人と変りはなく七時頃家を出ます。帰宅後はもつぱら読書。

左右の本棚にに先祖伝来の漢書がぎつしりつまつている。「本と茶道、その他、別にこれといつて趣味もないので、何度も読んだ」とのこと。

—初めて漢文を習われたのはいつ頃ですか

まあ親の代からやつていて〝門前の小僧〟でやるようになつた。

—尊敬する人は？

頼山陽、梅田雲浜、そのほかいわゆる〝反逆児〟。それらの人々は命をかけて自分の考えを貫いたのだからそれがよいかわるいかは別として尊敬の価値があるでしよう。

頭上にはこたらの人々の肖像、あるいは詩など、額に入れて掲げられてある。本棚の上には樫の木剣が二振。

—漢文をお子さんや生徒にすすめたいと思われますか？

「一夫も志を奪うべからず」という言葉がある。すべて自由にやらせ、強制しようとは思わない。

—趣味、好物は？

趣味は読書、といつても仮名まじりの本はよまない。すべて古人のもの。その他に茶道、華道など、茶の味を楽しむのではなく、その境地を楽しむためです

—洋服は？

一切着ません。ただ戦時中、それに戦後数年は無理矢理着せられましたが……。

—最後に座右銘のを一つ

「楠子賊名三百年」

の二句です。

……「天地自然を友とする。世間の人は私を相手にしないし、私もまた相手にしない。ひまさえあれば古社寺を歩き、その雰囲気に浸るのです」と淡々と語られる先生に、なにか温かいものを感じる。

まつくま・くにお（国語科）
明治四十三年七月一日生
佐賀県東松浦郡玉島村出身

どつちつかずの阿倍高生

六ノ組担任　森田丈三先生

近鉄河内天美駅を下車、北に二、三丁、落ちついた住宅地の一角が森田先生のお宅である。玄関のついい立ての後にこけしの模様の入つたのれんがかかつている。和服姿の先生に案内されて二階へ、横の棚にはこけし人形がずらり。さすがに森田先生といえば〝こけし〟というだけのことはある。インタービユーはまず日課から。

起床は朝六時、出勤は諸先生中早さでは一、二を争うとやら。夕食後はもつぱらお子さんのお相手と趣味のこけしや、いろいろの研究に時間を費される。次に失礼かとは思つたが、先生の丸坊主について伺つた。理由は案外簡単「私はただひどいフケ性でね。それともう一つは母が長髪に反対したのです。」

さて、次に森田先生といえば、すぐに思いだす〝こけし〟について伺つた。さすがにお詳しく、いろいろとお話をしていただいた。

—いまいくつぐらいありますか、

約三百個。全部作者のわかつているもので、明治以後のものです。

—いつごろからお集めですか

東北の大学へ行つていた時分からです。

—どういうところがお好きですか？

こういう郷土玩具には、芸術的価値というよりも、素朴なところによさがあります。今、百貨店などで売られているニスぬりのものなどはこけしではなく、こけしの形をした人形にすぎません。

こけしについての先生のお話は尽きそうもないが、この辺で阿倍高生に対する先生の御批判を伺う。

「何というかね。勉強を一生県命にするでもなし、さりとてクラブ活動を徹底的にやる人もない。どつちつかずのフラフラした人が多いね。」と語られた。

もりた・じようぞう
大正七年一月二十八日生
都島工業から東京物理学校、東北帝大卒、大同生命に入社、終戦後三重県津市の中学校教員生活に入られ、二十五年、本校へ赴任された。専門は統計学

（終り）

入物デッサン

円盤投げて入賞の

陸上部　油野美千子さん

清純とか素直あるいは明朗活発という言葉があるがこれらはみな油野さんのためにつくられた言葉かも知れない。話をしていても本当に感じのよい典型的なスポーツマンタイプのお嬢さんである。その油野君が前例を破つて初の陸上競技女子部員の名乗をあげ、ついで大阪府の新人大会で投げた円盤が入賞したのだからおどろかざるをえない。

しかもそれが初の円盤投げであつて、あぶなつかしい彼女のフオームからひよろひよろと飛んだ円盤であつたが彼女は歯をくいしばつて投げていたというから、負けず嫌いで気の強いお嬢さんである。部員の方はとても親切にしてくださいますが、やはり女子が少ないので気がひけます」と語るところは表面の朗らかな性質とは違つて案外デリケートな神経の持主を思わせる。

愚問とは思いながらも一応男性あるいは恋愛観といつたものを聞いてみたが笑つているだけで答えない。あとで小さな声で「別にありません」といつて話をそらしてしまつた。今の彼女の頭にはおよそこのような事は縁遠いのであろう。現在の彼女にはただ、投げ、走る事のみだけがあるようだ。今、陸上競技部の他には華道、音楽に入部しており日本舞踊は小学校三年の時から習つているという。円盤を投げる彼女と着物を着て日本舞踊を踊る彼女とは結びつけにくいが想像してみると愉快な気もする。

「もう将来の希望などあるの？」と聞いてみると「大学に行きたい。それも運動をするつもりはそうないのです。勉強したいのです」と答えるところをみるとただ明朗活発なお嬢さんだけでなくシンはしつかりした人のようだ。

一年で若いのだからまだまだこれから伸びるであろう彼女に期待したい。彼女の往く道に幸あらんことを。（H）

ゆの・みちこ　一年二組
家庭クラブ会計、陸上競技部員
大阪府下新人大会にて円盤投げで三位入賞。学大附属天寺中学出身。

大学通信

大阪大学の巻

進む石橋集中計画

中之島にメデイカル・センターを

澁谷和一

本学は大阪帝国大学を中心に、大阪高等学校、浪速高等学校及び大阪薬専を合併して、現在、法・経・文・医・歯・理・工の七学部に大学院・一般教養・附属病院・附属各種学校・微生物病研究所及び産業科学研究所よりなる敷地約三十万坪、教職員二、六〇〇名、学生約五、二〇〇名よりなる一大総合大学である。現在の施設は〝タコ足大学〟と異名をとる如く、北は阪急石橋の文科系三学部及び教養北校、並びに京阪御殿山の工学部枚方学舎より南は堺市浅香山の産業科学研究所迄十箇所に余る各施設が散在している。一般教養部のみでさえ南北両校に二分され、かくの如く各学部が散在している現状が如何に大学運営、学生生活に支障を来しているかがうかがえるであろうが、漸く揺籃期を脱した新生阪大は、大学当局のもとで着々学部集中案が具体化されている。即ち中之島（現在医学部の所在地）をメデイカル・センターとして、医・薬・歯三学部及び病院・附属研究所を集結し、他の全学部、即ち教養部法・経・文・工・理更に将来農学部を加えて石橋に集中しようとの構想である。この計画が完成すれば阪急宝塚沿線の明眉な地に石橋、豊中をつなぐ数十万坪の池、森、丘の交錯する立体的な地形に、面積においても北海道大学につぐ雄大広壮な学園が出現することになる。この計画はすでに年々具現化されており、まず第一次として教養部の北校統一をめざして新校舎の増築が行われており、三十年度四月或いは九月には統一実現が予定されている。この際、南校は廃止されるが、研究所或いは病院として阪大施設の一部として残るはずである。

次に学生生活であるが、年々増加する志願者の平均十倍という入試戦線を突破した新入生はまず一般教養部に於いて教養学科を履修する。各学部毎に所定の単位を修得したものに限り、専門課程進学を認められるが、本年度からは特にこの進学基準判定が強化された。特に注意すべきは語学と体育で、語学は英・独・仏のうち二箇国語必修であるが、本学は他大学に比して語学講座が相当多い。また体育単位のきびしい事は阪大名物の一つといわれ、年間五時間サボればまず単位はないとされている。かくて工学部は一年半で教養を修了、学科決定後、枚方学舎行きとなり、法・経両学部に於いては二年次より教養と併行しつつ専門講義が始められるが他学部は文部省規定通り、二ケ年教養講義がつづけられ、それぞれ専門学部へ進学する。専門四年次には経済界の不況期に対して学生も就職戦線の激流にまき込まれざるを得ないが、伝統を誇る工学技術関係はまず一〇〇パーセント確実、歴史の浅いことが憂慮される法・経関係でも年々成績は上昇し、国立大学協定による入社試験開始頃には求人申込数は求職者数を上廻る状態で、卒業頃にはほぼ全員決定となつている。

全学生の約六、七割迄が家庭教師を始めとする各種アルバイトに学資をかせぎ、日本育英会を始めとする各府県奨学資金交付をうける学生は約三割に及ぶがを獲得せんとすれば学業成績を奨学資金あげねばならず、この点も学生の深刻な問題である。これらの学生生活を少しでも緩和せんと学生間には消費生活協同組合が結成され、全国各大学との協定のもとに、食堂、売店、書店、理髪部などを学内各所に経営しており、食堂、理髪部は市価の約半額、書籍などはすべて五分以上の割引を行つている。入会は入学時に二百円の入会金で在学中有効だが、入会金も入学当時の教科書代の割引だけで戻るというから学生にとつては実に有意義な存在だ。

また学生自治会は各学部、各分校毎に組織され、ほとんどの学部自治会が全学連に加盟して活躍しているが、現在は学生に最も影響のある学生選挙権改悪反対の運動を北校を中心に全国に呼びかけ、また水爆反対の運動も積極的に展開されている。このからに勉学とアルバイト、そして悪政に対する強烈な批判運動の中にも学生は同好相会して各種クラブを形成し、学究にスポーツに励んでいる。顕著なものとしては全学の演劇研究の中心〝土星座〟や、法律相談部の街頭進出による相談所開設、また医学部学生による紀和水害の際の治療救援活動や南校北畠寮生による北畠塾の開設など、いずれも市民と共に社会明朗化へ尽力している。

全学学生のリクリエーションとしては、市内各会館で開催される新入生歓迎春季文化祭、秋季記念祭や南北対抗競技会、学部対抗競技会などが例年開かれているが、名古屋大学との〝対抗総合競技定期戦〟が両学主催、中日新聞社後援で開催されている。これは阪大が戦後七連勝を獲得している。スポーツ方面は私学ほど盛んではないが、特に優秀なものとしては、硬式庭球全日本学生ランクNO・2の堀内選手や、ボート朝日レガツタ全国優勝を始め、各種競技に活躍している。なお現在、阪大には阿部野出身の学生は九名の女子学生を含む五十一名が七学部にそれぞれ勉学に励んでいる。最後に、我々の後につづく諸君の一名でも多からんことを期待し、諸君等の来るべき入試の御成功を祈る。

【筆者は本校第四回卒業生・元本紙主筆・現在大阪大学法学部在学中】

＝写真は池向うに法・経・文学部を望む＝

校外ニュース

〝KWAIDAN〟昭和版

東北のK高校、最近幽霊が出るとのうわさが立ち始めた。というのは同窓会館の丸窓が夜になると四角に見える。また旧校舎の階段で夜になると赤ん坊のなく声がどこからともなく聞えて来る。またある教室では誰もいないのに本を読む声がする。そのほか、理科室の柱が夜になると曲る、家事室の軒が、夜になると三尺下るなどのウワサで勉強も手につかない有様。ちなみに明治時代まではその場所は処刑場であつたといわれている

近代落書

某高の漢文の時間。僕も一つと鬼才を発揮したのが某少年の次の詩『漢文不入頭処々聞寝息先生頭上声鼻落知多少』栴檀は二葉より香しとはこのことをいうのですかな

イカンメラーの話

—通譯と珍魚—

荒木信

スマトラの西海岸の印度洋に面したパダン市に駐留して間もない頃のことである。或るお正月に、当時西海岸州長官であつた俳人の矢野蓬矢氏の官邸に数人の新聞関係の人々と共に招かれて御馳走になつた。お正月とは言え、南緯二度赤道直下より尚暑熱の酷しいパダン市では、官邸の庭の目のさめるような真紅の花をつけた花焔樹に鳥が鳴いて、底ぬけの紺碧の空に怪奇な姿の積乱雲が浮き上つていた。風通しのよい日本間で、主客を囲んで四台の扇風機と巨大な二本の氷柱が僅かに涼を送つていた蓬矢氏は、先頃スマトラを訪れた作家の林房雄氏や、漫談家の大辻司郎氏のことなどを話題に、上きげんに私達をもてなしてくれた。やがてお酒とおさかなが運ばれた

「長官、鳥羽泉ですか」

A社の支局長が唇をなめて笑つた

スマトラの北部近く、首都メダンの少し南にトバ高原という豊沢な米産地がある。この高原のさ中にスマトラ随一の景勝地と言われる〝トバ湖〟がある。このトバ高原の米とトバ湖の水で醸造された日本酒を「鳥羽泉」と銘打つて、当時スマトラの愛飲家にこよなく珍重された逸品であつた。酒をたしなまない私は、同席の面々が唇をなめ舌を打つて満悦しているのを横目でみながら「おさかな」の方に手をのばした。

「君、それは印度洋の鯛だよ」

蓬矢氏は私の方をむいて得意気だつた。私はカツトグラスの器の中に氷にのせられた美しい刺身を見て、久々に味う故国の懐しい味覚が無性にうれしかつた。

印度洋の鯛を「さかな」に銘酒「鳥羽泉」が廻つて、大分酒席が賑やかになつた頃にジャワ人のバヴー（女中）が刺身のお代りを運んで来た。

聞くとパダンの漁夫の古老が特に蓬矢長官の為に、お正月の祝のしるしに見事なのを数尾献上したので、いくらでもあるから遠慮せずにとのことであつた。

そこで私は大に職業意識を出してその女中に「この魚は何と言う名前か」と聞いた。ジャワ更紗のサロン姿の端然としたこの女中は、

「タイ。トワン」（鯛です。旦那）

私はあわてて

「ブカン、ババサインドネシヤ」（いや、インドネシヤ語では？）

「イカンメラー。トワン」

「アー。イカンメラー。サヤ、タウ」（ああ、イカンメラーか。わかつたよ）

その日は大いに蓬矢長官邸で痛飲（？）馬食しておいとましました。

さて、この印度洋の鯛の味を忘れかねて、数日たつた或る日、私は宿舎のバヴーに、パサール（市場）へ〝イカンメラー〟を買いにやつた。同室のS通訳官は料理をすると言つて、ナイフをといで既に板場気取りである。やがて三十分ばかりしてバヴーは汗をふきふき帰つて来た。

そしてバスケットから取出した魚をみて私達は〝アツ〟と声を上げた。

緋鯉にオコゼの頭をつけたような世にもグロテスクな五十センチばかりの怪魚である。「馬鹿ツ。こんな鯛があるかツ！」Sが日本語でどなる。私がそれを描いインドネシヤ語で怒り直す。一寸うすのろのこの十六歳位のバヴーは「ブトル。イニ、イカンメラー、イカンメラー」（これ本当にイカンメラーです）と叫ぶと身悶えして〝ワー〟と泣き伏してしまつた。床に投げ出された「イカンメラー」は凄い無気味な目で私を睨んでいる。

そこへ折よくインドネシヤ語の通訳の台湾人の黄君が来たので一応訳を話すと、彼は天井を吹きとばすように洪笑した。

「それはこのバヴーの言う通りですよ。イカンメラーは、ただ〝赤い魚〟と言うだけなのです。インドネシヤ語つて、こんなものですよ。だから鯛でも金魚でも◇鯉でも、イカンメラーですよ。花だつて、赤いカンナでもチユーリツプでも、みんなブンガメラー（赤い花）ですよ。インドネシヤ語で言えと言つたら大ていこんな教え方をしますよ。ハハハ……」

そこで私は

「それじや、実際に鯛がほしけりや、どうすりやいいんだ」と聞いたら、黄君の答がふるつている。

「タイですよ。タイでいいんですよ。蘭領時代から日本人の特に賞味することの魚は、もうダイで立派にパサールに通用しているんですよ」

【筆者は本校英語科教諭】

制服の御誂えは
安心して買える
本校指定
シヤモト
北村被服株式會社
男女制服専門店
市電上本町九丁目下車東へすぐ
電話天王寺⑰２３６０番

新刊書籍雑誌
学生参考書
サカグチ書店
上町線北畠駅前
電話天下茶屋⑯３２３０

晝食には安くてうまい
校内食堂
みのわ

火金曜出張販賣修理
高級万年筆　卸　小売
谷野商店
大阪府北河内郡四条町野崎
本店　大阪市東区森之宮東之町